

いなみ町

議会だより

No.106
2025.7

ひまわり(印南原)

令和7年 第2回定例会

議案審議 P2 一般質問(3名が登壇) ... P3～P5
裏表紙 P6

議案に対する各議員の賛否

○=賛成 ×=反対 欠=欠席

6月定例会は12日に開会し、18日に閉会しました。



種類	議案番号	議案内容	黒井	木村	岡本	谷	中島	片山	古川	杉谷	玉置	榎本	前田	堀口
条例	28	専決処分事項の承認を求めることについて(印南町税条例の一部改正)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	29	専決処分事項の承認を求めることについて(印南町国民健康保険税条例の一部改正)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	34	印南町議会議員及び印南町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	35	印南町税条例の一部改正について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	30	専決処分事項の承認を求めることについて(令和6年度印南町一般会計補正予算(第7号))	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	31	専決処分事項の承認を求めることについて(令和6年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号))	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	32	専決処分事項の承認を求めることについて(令和6年度印南町滝ノ岡専用水道事業特別会計補正予算(第1号))	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	33	専決処分事項の承認を求めることについて(令和7年度印南町一般会計補正予算(第1号))	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	42	令和7年度印南町一般会計補正予算(第2号)について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	43	令和7年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	44	令和7年度印南町水道事業会計補正予算(第1号)について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
契約	36	業務委託契約について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	37	工事請負契約について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人事	38	監査委員の選任について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	39	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	40	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	41	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告	1	令和6年度印南町一般会計繰越明許費繰越計算書について	—	欠	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
請願	1	「再審法(刑事訴訟法における再審規定)の改正を求める意見書」を政府に提出することを求める請願について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議	2	刑事訴訟法における再審規定の改正を求める意見書について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議長は裁決に加わりません

移動期日前投票所の設置を 提案する



榎本 一平
議員

質問 有権者の参政権を保障する課題は重要です。印南町では投票所が18力所から15力所に減らされ、高齢化が進むなか、投票にも大きな影響を与えます。

有権者の参政権を保障するためにも、有田川町や新宮市などでも行っており、総務省が推進している移動期日前投票所を開設してはどうですか。

答弁 総務課長

移動距離等による投票環境の制限から投票の機会を失う事のないよう配慮が必要です。

有効な手段の一つであると思いますので、研究・検討します。

自然災害から農家の経営を守る対策を

質問 今年も電が降り、農作物に大きな被害が出ました。

町内の被害はどの様になっていますか。

答弁 企画産業課長

町内では20haの園地で電被害が発生し、被害金額は910万円です。稲原、切目、切目川で大きな被害が出ました。

県下の梅被害は47億7千832万9千円で、その他の作物、エンドウ、スモモ、園芸施設など含め被害金額は48億1186万5千円です。

質問 異常気象の影響で農家の方は大きな被害を被る事態になった時、対応できる「収入保険」に多くの農家の方が加入できるように、保険料の一部を町が補助してはどうですか。

答弁 企画産業課長

収入保険の積立金の部分で国の補助が受けられますので、こちらの方法を活用していただければと考えます。



浜東地内への 避難タワー建設について



岡本 庄三
議員

質問 先の議会では、建設

は考えていない旨の答弁でありましたが、再度、建設が必要であるとの立場で質問します。

町長の防災対策の基本的な考えは「一人の犠牲者も出さない、出させない」であると思います。

そのなかで、浜東地区の避難タワーは、現在の津波被害想定では、十分な機能を果たすことは困難です。言い換えれば、犠牲者が出る可能性があるということです。

防災対策には一人一人の危機管理への意識や行動が最も重要であることは、承知していますが、犠牲者の出る可能性をゼロに近づけるためには、ハード整備も必要不可欠の要件であると思います。避難タワーの建設を検討出来ませんか。

答弁 総務課長

現在、浜東地区では、避難タワーの建設ではなく、平和橋の耐震化、避難誘導灯の整備、空き家や障害物の除去など、避難経路の安全確保を重視した対策を進めております。

災害関連死を防ぐには、指定避難所への避難が最も確実であるとの方針のもと、地元関係者とも協議を重ねてきました。

質問 地域の高齢化率や歩行困難者の実情を踏まえると、短時間で高台避難ができるかは極めて不安です。

避難タワーは水や食料の備蓄よりも命をつなぐ一時避難施設として整備すべきものであり、最悪を想定した「最後の命綱」としての位置づけを否定すべきではありません。避難タワーが

不要とされる背景には、地元住民の意思や避難困難者の実態が十分に反映されていないのではないかと、との懸念もあります。

答弁 総務課長

町としては長年、地元区・自主防災会・民生委員等と

協議を重ね、避難対象となる方々の個別情報も把握した上で、安全かつ持続可能な避難体制を構築してきました。これまでの取り組みを否定するような議論には、地域の努力を軽視しているの思いもあります。



基金と町政運営について



片山 智文
議員

質問 4 中学校統合建設事業や、防災福祉センター建設、切目橋架け替え工事、町道上野山線道路改良工事等、大きな事業が進められています。

「お金があるのか?大丈夫か?」といった声が町民の中から聞かれるようになりました。

この点について、問題はございませんか。

また、印南町は、どのような資産運用、財政運用をされているかを確認させていただきます。

答弁 総務課長

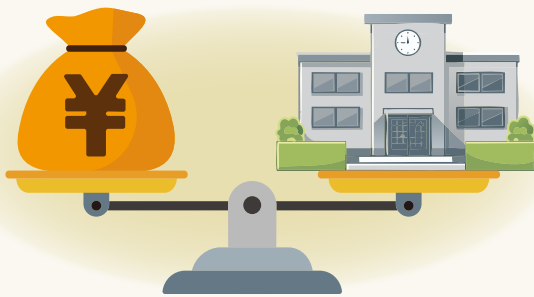
国、県補助金などできる限り確保しながら、有利な起債も活用しています。

また、目的基金や義務教育施設整備基金等の各種基金もございます。特に交付税措置率の高い有利な起債

を財源としながら、印南町の財政負担軽減に努めてまいります。

答弁 会計管理者

地方自治法や条例の規定に基づき、定期預金や債券により、保管及び運用を行っています。



質問 財産運用における定期預金などの特徴および、運用益の税制優遇について、ご説明ください。

答弁 会計管理者

一般的に、定期預金は、1 年間の運用のため、現金化しやすいものの、債券と比較して、低金利です。

一方、債券は、発行体や運用期間が多様で、選択肢が多く、定期預金と比較して、高金利と言われています。

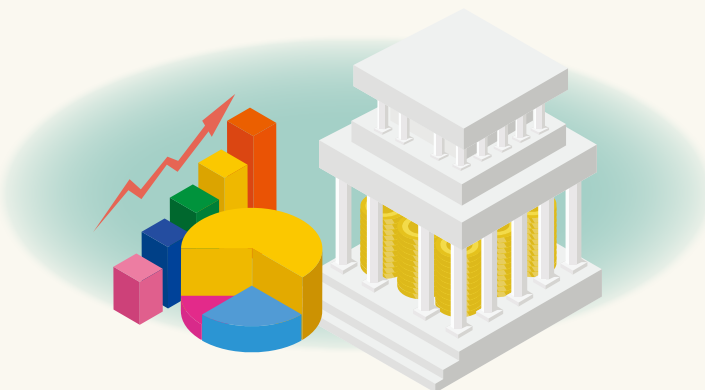
運用益の税制優遇については、地方自治体で運用する利子の収入は、所得税法により、課税されることはありません。

質問 令和6年度決算見込額の増額要因と、令和7年度見込についてはいかがですか。

答弁 会計管理者

令和6年度決算見込額 2 千 4 9 万 4 千 3 5 2 円の内 1 6 6 0 万円が債券運用によるものです。

令和7年度の見込額は、約 4 千 9 0 0 万円です。



第17期印南町議会 広報特別委員会より

第17期の広報特別委員会は、写真の6名で構成され、令和3年9月から4年間「議会だより」の作成に努めてきました。

年4回の議会ごとに何度も委員会を重ね、全体のレイアウトやページごとのイラスト等を確認してきました。

また表紙の写真や裏表紙の構成等を取り決めていきます。

各議員から提出された原稿が議場での事実と相違はないか、誤字脱字や誤解を招く表現になっていないかを審議しています。

この間表紙の写真撮影に出かけたり、裏表紙の団体紹介コーナーの取材をしたりと仕事は多岐にわたります。

委員会発足当時は、コロナ禍もあり研修会への参加もできなかったのですが、4年目にして初めて、全国規模で行う研修会に参加することができました。

その研修で全員が感じた

ことは、読みやすさ、読んでもらいやすさは、文字数を少なくし、的確に伝えるということでした。

この号が私たちの最後の仕事となりましたが、読みやすい議会だよりになるよう努力してきました。

議会議員選挙後の9月議会からは、新しい委員でスタートする予定です。

4年間のご愛読ありがとうございました。



議会広報特別委員会

■委員長 前田 憲男
■副委員長 片山 智文
■委員 黒井 美晴
谷 章資
中島 洋
古川 眞

